

## 平成28年度習志野市史編さん委員会会議録

日 時 平成29年1月20日（金） 午後2時～午後3時  
場 所 教育委員会 1階 大会議室  
出席委員 上山委員長・小倉副委員長・井上委員・坂本委員  
加藤委員（石山委員・上原委員は欠席）  
出席職員 植松教育長・井澤生涯学習部長・斉藤生涯学習次長・佐々木社会教育課長  
金子文化財係長・松浦主査・岩田主事  
傍 聴 者 0名

### 会議次第・内容

#### — 開会 —

1. 委員長挨拶
2. 委員紹介
3. 生涯学習部長挨拶
4. 職員紹介
5. 議事録署名人選出

小倉副委員長と井上委員が議事録署名人に選出された。

#### 6. 報告

##### （1）市史刊行物の販売

ア 市史刊行物の販売状況

事務局 市史刊行物の販売状況について報告。

委 員 習志野市史料所在目録に記載されている史料は、申請があればすぐに閲覧可能か。

事務局 習志野市が所蔵している史料に関しては、内容等を確認したうえで申請していた  
できれば閲覧可能である。

委 員 個人が所有している史料に関しては閲覧できないのか？

事務局 所有者に連絡をしたうえで許可があれば閲覧可能である。

委 員 個人が所有している史料も史料所在目録の中に入っている？

事務局 はい。

委 員 個人への連絡は市が行ってくれるのか？

事務局 はい。ただ、当時の所有者が現在も所蔵しているかどうかをすべて把握できてい  
るわけではない。実際、大学等が所蔵先の場合、機関名が変わっている場合も多  
く、今のところ全部を把握できていない。

委 員 市町村が目録をつかったのち、県の公文書館や他の団体、あるいは個人等に目録  
記載の史料が渡ってしまい、史料の所在が不明になってしまうことがある。習志  
野市の場合はそういったことはないのか。また、目録記載の史料のうち、当時の

所有者が現在も所蔵している史料がどのくらいあるのか、市は把握しているのか？

**事務局** すべては把握できていない。一部に関しては問い合わせ等を行っているが、悉皆的な調査は行っていない。

**委員** 昭和30年代ごろからこうした史料目録の作成事業が各地で行われているが、年月が経つうちに目録記載史料の所在がほとんど不明になってしまうケースも見受けられる。そうした事態にならないよう、史料を文化財としてきちんと保存する手立てをとるべきだ。

**委員** 市が保存施設をつくり、市の文化財として史料を譲り受ける方法も考えられる。習志野市にはそうした保存施設は無いのか？

**事務局** 現在は第4分室の市史編さん室において古文書関係については保管している。

**委員** 市史編さん事業が終了した時点で保管されていた資料については現在も保管されているのか？

**事務局** そうである。事業が終了した後に寄贈・寄託を受けた資料等も保管している。

## (2) 市史調査

ア 市史関係資料の収集・調査

a 文献資料の収集・調査

**事務局** 今年度収集・調査の文献資料について報告。

**委員** デジタルアーカイブに関してはどのような形で保存しているのか。

**事務局** PDFなどの形式でダウンロードしたデータをハードディスクに入れて保管している。いつでも印刷できるような状態にしている。

**委員** 紙媒体ではなく、データとして収集・保管しているのか。

**事務局** そうである。千葉県立図書館などシステムが変わって現在はダウンロードが難しくなったデジタルアーカイブもあるため、可能なうちにダウンロードするようにしている。

**委員** プリントアウトもできなくなったのか。

**事務局** 画像データを一枚一枚しなければならなくなり、かなり使いづらくなった。

b 展示・発表に関わる調査

**事務局** 総合教育センターでの小企画展「将軍の鹿狩りと村小旗」「ロシア兵士と習志野」に関する調査について報告。また、谷津コミュニティセンターでの発表会「掘り起こされた谷津貝塚」に関する調査について報告。

## (3) 市史関係資料の保存と活用

ア 史資料の整理・保存

a 市史編さん室保管の文書・写真類の整理

**事務局** 市史編さん室保管の文書・写真類の整理について報告。新庁舎に移転するため準備作業を行っていることについて報告。

b 民具類の移転

**事務局** 旧袖ヶ浦西幼稚園で一時保管していた民具類を第三中学校の余裕教室に移動したことについて報告。また、旧鴛田家住宅での展示民具を増やしたことについて報告。

**委員** 習志野高校旧北校舎から袖ヶ浦西幼稚園、第三中学校へ民具類を移転する間に、燻蒸等を含め、何らかの維持保存の努力をしていたのか？

**事務局** 燻蒸については、かねてから検討してきたが、費用的な問題などで実施できていない。現在、窒素を充填した袋に密封する比較的安価な方法なども提案されており、今後検討したい。

**委員** 袖ヶ浦西幼稚園に移転したのは何年前か。

**事務局** 平成26年度の末頃である。

**委員** 移転した民具のリストは作成しているのか。

**事務局** 作成している。

**委員** 小学校等で子供が触れることのできる民具を分散しておくことも利・活用の一種であると考えられる。

**事務局** 数校の小学校に対しては民具を貸し出し中である。小学校が独自に民具を収集している場合もある。逆に維持ができなくなりこちらに管理を委ねるケースもある。

**委員** 先ほどの古文書の件と同様、利・活用を通して資料を次の時代に伝えていくという事が求められる。

**委員** 歴史民俗資料館や博物館といった施設が無い市町村では、小学校の空き部屋を利用して民具類を収蔵している場合が多い。習志野市の場合も同様である。収蔵施設を新設できるような状況ではないと思うが、保存と利・活用をきちんと考えて実施していただきたい。

イ 史資料の活用

a 総合教育センターでの展示

**事務局** 総合教育センターにおける歴史資料の展示について報告。小企画展「将軍の鹿狩りと村小旗」「ロシア兵士と習志野」の内容について報告。

**委員** 観覧者数のカウントは行っているのか。カウントしている場合、どのくらいの観覧者がいるのか。

**事務局** 「将軍の鹿狩りと村小旗」についてはカウントしていないが、現在行っている「ロシア兵士と習志野」については、配布資料の数でカウントしている。先週の段階で100人の観覧があった。

- b 習志野市文化財発表会「掘り起こされた谷津貝塚―奈良・平安時代の大集落をさぐる―」

**事務局** 谷津コミュニティセンターで行われた習志野市文化財発表会の内容について報告。

- c 歴史に関する講座への講師派遣

**事務局** 歴史に関する講座への講師派遣について報告。

- d 市史に関する問合せへの回答

**事務局** 市史に関する問合せへの回答について報告。

ウ 市史編さん事業に係る研修会等

- a 千葉県史料保存活用連絡協議会

**事務局** 市歴史資料の保存・活用に関する情報交換、研修等の活動内容について報告。

#### (4) その他

ア 文化財関係の報告

- a 旧鴫田家住宅の復旧状況について

**事務局** 旧鴫田家住宅の復旧状況について報告。

- ・東日本大震災で被災した旧鴫田家住宅は、平成26年度から復旧工事を開始。平成27年1月に曳屋を行い、基礎の復旧工事を実施した。基礎復旧に伴い、7月に再度曳家（曳き戻し）を行い、元の位置に戻した。平成28年3月には復旧工事が完了し、平成28年4月3日から一般公開を再開している。現在は、震災前に近い入場者数となっている。

— 閉会 —

以上